



七条中学校だより2020



京都市立七条中学校
令和2年8月28日(金)

第5号 さあ、2学期

文責：校長 太田勝

ホームページには「学校だより」をカラーで掲載しています。日々の学校の様子も掲載しています。ぜひご確認ください。

思いを胸に！

～キャプテンからのメッセージ～

7月31日の終業式では、3年生の各部のキャプテンから、全校生徒に向かってメッセージが伝えられました。

みんなと一緒に活動できた事への喜び

顧問の先生や保護者への感謝

公式戦がなくなったことへの挫折と、新たな目標
代替試合への意気込み



そして、23日間の夏休みを経て、いよいよ「代替試合(公式戦)」が行われます。大会の日程は以下のとおりです。

◆野球部	9月 5日(土)または9月12日(土)	対 西京附属中と凌風中の勝者
◆陸上部	9月13日(日)	
◆卓球部	9月20日(日)	
◆ラグビー部	9月26日(土)	対 向島秀蓮中
◆サッカー部	9月 6日(日)	対 桃陵中
	9月19日(土)	対 西院中
	9月20日(日)	対 双ヶ丘中・高尾中
◆バレー部	8月29日(土)	対 東山泉中
◆男子バスケットボール部	8月29日(土)	①対 山科中 ②対 桂中
◆女子バスケットボール部	8月30日(日)	①対 西京附属中 ②対 上京中
◇吹奏楽部「演奏会」	10月10日(土)	



体育系部活動の「代替試合」「秋季新人大会」は、すべて無観客試合となります。保護者・一般生徒の応援はできませんので会場や時間は掲載していません。



夏休みの「風景」

今年の夏は雨も少なく、暑さの厳しい夏休みとなりました。それでも校門付近の花やメダカはすくすくと成長し、生徒会が植えたゴーヤにはたくさんの立派な実ができました。ゴーヤや西洋朝顔も、小さなプランターで

育てると、丁寧に世話をしても水分や栄養も限られているために大きくは育ちません。でも、地植え(地面に直接植える)をすると、水をやるのも2日に1回程度でも十分に育ちます。今では10メートルほど上まで伸びています。メダカもピロティーの小さなガラス水槽では繁殖はなかなか見られませんが、校門の大きな水鉢(みずばち)だと、太陽の光もたっぷり浴びることができるため、メダカも大きく育ち、稚魚もたくさん生まれています。毎日エサを与えなくても、自然に近い環境の中で発生した微小な生物が、メダカのエサになるのです。このように生き物にとって「大きな世界」はかけがえのないものです。

学校はよく「集団の学びの場」だと言われます。生徒の皆さんも、人間関係を学んだり、集団でしか経験できないことや、人の関わりの中で身につけたことがいくつもあると思います。花や生き物だけでなく、この夏休みにも学校ではいろいろな風景を目にすることができました。仲間がいたからこそ続けられたのかもしれない「夏の学習会」。集団での取組に向けて準備してくれた「ハチマキの確認」や「指揮者・伴奏者講習会」。家にいることが多かったとは言え、「日に焼けた肌」。そして流した「汗」。

さあ、2学期がはじまりました。安心・安全もみんなで作る。七条中学校の教育目標は「自主」「自立」そして「共創」です。



生徒会交流会

今年の生徒会交流会は「テレビ会議システム」を活用してリモートで行いました。下・南・東山支部のそれぞれの学校の生徒会の代表生徒はパソコンとカメラに向かってスタンバイしています。

交流会がはじまると、画面にはそれぞれの学校が映し出されました。七条中学校からは、まず今年度の生徒大会をテレビ会議システムを活用して実施したことが報告されました。そして「ブレイクキャンペーン」の紹介ムービー・学級旗発表のムービー・スローガン決定などについて詳しく報告しました。評議会のグリーンカーテン「GreenべらC大作戦」や保健安全委員会の換気啓発「禁密の刃」の取組の報告に続き、七条中学校のスローガンである「無限～高みを目指せ風雲児～」の決定については、生徒一人ひとりの身近なものにするために、生徒から案をもらい、意見を反映したことも報告されました。生徒会交流会は、離れていても、活発な質疑応答がありました。



花瓶敷き(ハンドメイク部)

夏休み中に制作に取り組んでいた「花瓶敷き」が完成しました。この作品はヨーヨーキルトという、円形にカットした布を縫い縮めて作ったお花のようなモチーフをつなぎ合わせる手法で作ったそうです。一輪挿しに見立てたグラスに学校の花壇の花を入れ、ピロティーのテーブルの上に飾っています。ぜひご覧ください。



